

令和7年度 取手市の学校教育

取手市教育委員会 指導課 教育総合支援センター

ハートと♥アートで子どもたちの未来を拓く 取手市の学校教育

児童生徒の気持ちを理解する

- ・ 全員担任制(中学校)・チーム指導(小学校)
- ・ 教育相談部会システム
- ・ 教育総合支援センターによる相談・支援
- ・ いじめ、不登校問題への対応
- ・ 心理、発達、福祉、法律などの専門家の活用

○数値目標

- ・ 学校に行くのが楽しい・・・85%
- ・ 先生は自分のよいところを認めてくれる・・・93%
- ・ 不安があるとき学校の先生などに相談できる・・・70%



探究的な学びで思考力・表現力を高める

- ・ 対話型アート鑑賞ツアー
- ・ プレゼンテーションフォーラム
- ・ サステナブル学習プロジェクト(環境教育)
- ・ 取手市学びのコンパスの活用
- ・ ICT教育、英語教育の充実

○数値目標

- ・ 授業で工夫して発表している・・・65%
- ・ 英検3級相当以上の英語力を有する・・・65%
- ・ 児童生徒がICT機器を使って発表する授業・・・100%



多様なニーズに対応する

- ・ 読み書きの困難さに対応する支援プログラム
- ・ 成長の様子や支援を引き継ぐ相談記録ファイル
- ・ 特別支援教育推進グループの活性化

○数値目標

- ・ 「個別の教育支援計画」を活用した支援・・・100%
- ・ 「取手市相談記録ファイル」を活用した支援・・・100%



保護者や地域と連携する

- ・ 学校運営協議会を柱とする保護者、地域との連携
- ・ ボランティアや地域の方による地域学校協働本部
- ・ 多様な地域人材の積極的な活用

○数値目標

- ・ 地域と連携した地域学校協働活動率・・・60%
- ・ 地域人材活用事業活用率・・・90%



複数の教員が様々な視点で児童生徒を見ることで、
サインや変化に気付けるようにします

中学校全員担任制について

★学年担当教員が一定の期間で交代しながら【担任】をします。

⇒ 3年生は「進路担当教員」：定期面談、進路指導・事務、学級事務など

1・2年生は「学級事務担当教員」：出席簿や通知表、提出物の管理など

⇒ サイクルは、1週間、2週間、1か月など学年・学級の状況で変わる

⇒ 誰に相談したらいいのかわからないときには、【学年主任】に連絡・相談

小学校チーム指導について

★一部の授業、朝の会、帰りの会、給食指導、清掃指導などの時間に、学級担任以外の教員も学級を指導する時間を設定

⇒ 《授業による取組例》学年内での担当交換、高学年ブロックでの担当交換

《その他の取組例》授業だけでなく、掃除や給食、朝・帰りの会などで担当が交代

児童生徒の悩みや不安等にチームで対応するための教育相談部会

教育相談部会システム 4つのポイント

「教育相談部会システム」では、児童生徒の悩みごとや困りごとに気付き、チームで支援するために、「教育相談部会」を設置。

Point 1

複数の教員で「小さな変化」に気付き、情報の共有

Point 2

情報を集約し「教育相談部会」へ提案

Point 3

「教育相談部会」を定期的を開催
(小学校は2週間に1回、中学校は週1回実施)

Point 4

「専門的な立場からの意見」の交流

教育相談部会は、学校と専門家が積極的に連携を図ります。



チーム指導（小学校）
全員担任制（中学校）

人間関係づくり
～グループワーク～

教育相談部会システム

魅力ある学校づくりの実現

校内サポートルーム

子どもと親の相談員

スクールソーシャル
ワーカー



- 人…友達・先生がいる
- 時…授業・行事が楽しい
- 場…安心できる居場所・
自分が必要とされる
場所がある

ポジティブな行動支援

スクールカウンセラー

S N S 教育相談

教育総合支援センター
〔適応指導教室ひまわり〕

取手市の特色ある学び

とりでサステナブル学習プロジェクト

1 ねらい

取手市の「取手市気候非常事態宣言」を受け、地球温暖化対策を目的として実施し、未来を担う子どもたちが持続可能（サステナブル）な未来をつくるための知恵や価値観を育む。

2 実施期日 年間を通じて、小学校 | 4 時間程度
中学校 | 0 時間程度

3 対象学年 小学 4 年生、中学 1 年生

4 対象校 令和 7 年度より全 20 校で実施

令和 7 年度新規校：取手小、取手東小、山王小、
藤代小、宮和田小、久賀小、
取手一中、藤代中

○昨年度の反省より

- ・学校とアドバイザー間でのやりとりの円滑化
- ・主旨や内容の確実な周知



◎今年度の説明会を 4 月 23 日（水）に開催

プレゼンテーションフォーラム

1 ねらい

プレゼンテーションを通じて、SDGs の視点をもつと同時に、探究活動によって得られた内容や自分の考えを、ICT 機器を活用して分かりやすく効果的に相手に伝えるために、資料の提示の仕方や話の組み立てなどを工夫し、論理的に説明することができるようにする。

2 実施期日 令和 8 年 2 月 16 日（月）

3 実施場所 取手ウェルネスプラザ 多目的ホール

○昨年度の反省より

- ・全体的に底上げが図られており、学校間の差はなくなってきた。
- ・発表 ≠ プレゼンテーションの違い
- ・代表児童のみの取組になっていないか
- ・主旨や内容の確実な周知



◎概案が決まったら（7 月ごろ）、
担当者向けミニ研修会を開催（30 分程度）。

児童生徒の学力向上

児童生徒の学力の現状

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から

	国語（小学校）	算数	国語（中学校）	数学
成果	◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する力の向上 ◎目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する力の向上	◎加法や減法の問題場面の数量の関係を捉え、式に表す力の向上 ◎円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る力の向上	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解する力の向上 ◎目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする力の向上 ◎行書の特徴を理解する力の向上	◎問題場面における考察の対象を明確に捉え、数学的に処理する力の向上 ◎グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する力の向上
課題	▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力 ▲人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力 ▲登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える力	▲異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察する力 ▲図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、立体図形について考察する力	▲目的に応じて必要な情報に着目して要約する力 ▲文脈に即して漢字を正しく書く力 ▲表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力	▲データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力 ▲筋道を立てて考え、証明する力

R7の重点

（授業づくりの手引
「取手市学びのコンパス」の活用）

国語 ○漢字・文法、思考力・判断力・表現力（一体的な指導）

算数・ ○説明する活動（アウトプット）の充実

数学 ○単元を貫く学習課題 と 振り返り

きめ細かな個別指導
目の前の集団の課題把握

○S-P表の活用
※教務主任会で伝達



I C Tの効果的な活用 ～2 n d G I G Aに向けて～

ICTスキルの確実な習得

新スキル習得表 (学びのコンパス参照)

A: 基本操作	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 タブレットを起動/終了する(電源操作)。	○	○	○	○	○	○	○
2 ID、パスワードを適切に管理する。	○	○	○	○	○	○	○
3 バッテリー残量を確認し、充電できる。	○	○	○	○	○	○	○
4 タッチパッド・タッチパネルの基本操作ができる。(クリック、ダブルクリック等)	○	○	○	○	○	○	○
5 タッチパッド・パネルでドラッグ&ドロップ、コピー&ペーストができる。	○	○	○	○	○	○	○
6 先生からの指示で、決められたアプリケーションを起動できる。	○	○	○	○	○	○	○
7 学習活動に適するアプリケーションを自分で選択して起動できる。	○	○	○	○	○	○	○
B: 文字入力	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 キーボードからアルファベットや数字の入力ができる。	○	○	○	○	○	○	○
2 キーボードの主要キーの位置と操作内容がわかる。(Enter, スペース, Delete, F80等)。	○	○	○	○	○	○	○
3 大文字と小文字の切り替えができる。	○	○	○	○	○	○	○
4 手書きやディスプレイ入力、フリック入力等で文字や数字を入力できる。	○	○	○	○	○	○	○
5 ローマ字入力ができる。	○	○	○	○	○	○	○
6 半角/全角の切り替えができる。	○	○	○	○	○	○	○
7 自分の名前をローマ字で入力できる。	○	○	○	○	○	○	○
8 文庫ごとに変換することができる。	○	○	○	○	○	○	○
9 1分間に80文字以上入力できる。(キーボード1級程度)	○	○	○	○	○	○	○
10 1分間に80文字以上入力できる。(キーボード1級程度)	○	○	○	○	○	○	○
11 45分(授業)で、推敲を含めて600字程度の作文を作成する。	○	○	○	○	○	○	○
12 60分(授業)で、表やグラフを含めて1000字程度のレポートを作成する。	○	○	○	○	○	○	○
13 タッチタイピングで思考(考え)を表現(入力)する。	○	○	○	○	○	○	○
C: フォルダ/ファイル管理	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 ファイルを保存する。	○	○	○	○	○	○	○
2 保存したファイルを開く。	○	○	○	○	○	○	○
3 上書き保存ができる。	○	○	○	○	○	○	○
4 ファイルの名前変更ができる。	○	○	○	○	○	○	○
5 One driveに保存したファイルを開く。	○	○	○	○	○	○	○
6 ファイルの新旧がわかる。	○	○	○	○	○	○	○
7 本体保存のファイルをネットワークフォルダへ移動する。	○	○	○	○	○	○	○
8 ファイルの種類(拡張子)を知る。	○	○	○	○	○	○	○
D: カメラ機能(写真・動画)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 QRコードを読み込んでリンクを開ける。	○	○	○	○	○	○	○
2 写真を撮影して、見る。	○	○	○	○	○	○	○
3 動画を撮影して、再生する。(付属アプリやWebタイムシフトカメラ)	○	○	○	○	○	○	○
4 撮影した写真を拡大や縮小、トリミングをする。	○	○	○	○	○	○	○
5 画像の簡単な編集(明るさ修正や背景削除など)をする。	○	○	○	○	○	○	○
6 画像を圧縮してファイルサイズを小さくする。	○	○	○	○	○	○	○
E: インターネット検索	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 ネットワークに接続しているかどうかを判断できる。	○	○	○	○	○	○	○
2 インターネットに接続し、閲覧する。	○	○	○	○	○	○	○
3 キーワードで検索をする。	○	○	○	○	○	○	○
4 入手した情報の真偽を複数のサイトで確かめる。	○	○	○	○	○	○	○
5 作品にHPの内容を利用する場合、引用元を明示できる。	○	○	○	○	○	○	○
F: Officeアプリ(Word/Excel/Power Point)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 文字の大きさや色などをカスタマイズする。	○	○	○	○	○	○	○
2 書式(用紙サイズ、余白や文字・行数など)を設定する。	○	○	○	○	○	○	○
3 縦書きができる。	○	○	○	○	○	○	○
4 イラストを挿入する。	○	○	○	○	○	○	○
5 図や写真、表などを挿入する。	○	○	○	○	○	○	○
6 エクセルで連番、日付の入力、並びかえができる。	○	○	○	○	○	○	○
7 エクセルで基本的な関数(合計・平均など)を使用する。	○	○	○	○	○	○	○
8 エクセルで表からグラフなどを作成する。	○	○	○	○	○	○	○
G: プレゼンテーション(発表ノート、パワーポイント)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 先生からの発表ノートを受け取って編集し、提出する。	○	○	○	○	○	○	○
2 発表ノートを使って、自分の考えを1枚のスライドに表すことができる。	○	○	○	○	○	○	○
3 発表ノートをグループで共有し、グループで作品を見合う。	○	○	○	○	○	○	○
4 発表ノートをグループで共有し、グループで作品を作る。	○	○	○	○	○	○	○
5 プレゼンテーションを作成することができる。	○	○	○	○	○	○	○
6 パワーポイントに画像や動画を貼り込む。	○	○	○	○	○	○	○
7 パワーポイントにアニメーションをつける。	○	○	○	○	○	○	○
8 パワーポイントを使って自分の考えや発表をプレゼンテーションすることができる。	○	○	○	○	○	○	○
H: Teams	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 オンライン会議ができる。	○	○	○	○	○	○	○
2 状況に応じてカメラやマイクのON、OFFができる。	○	○	○	○	○	○	○
3 チームのファイルタブにファイルを保存したり開いたりできる。	○	○	○	○	○	○	○
4 チームで課題を提出できる。	○	○	○	○	○	○	○
I: AIドリル(eライブラリ、eボード、ドリル付属のデジタル問題)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1 ログイン、基本設定ができる。	○	○	○	○	○	○	○
2 先生から指示された問題に取り組む。	○	○	○	○	○	○	○
3 自分で単元や問題を選んで自主学習に取り組む。	○	○	○	○	○	○	○

タイピングスキルの向上

- 打てなきゃ使いこなせない！
- ⇒3年生以上で、徐々に長文入力に慣れていく
- ⇒5年生以上で、スムーズに思考を表現することに慣れていく

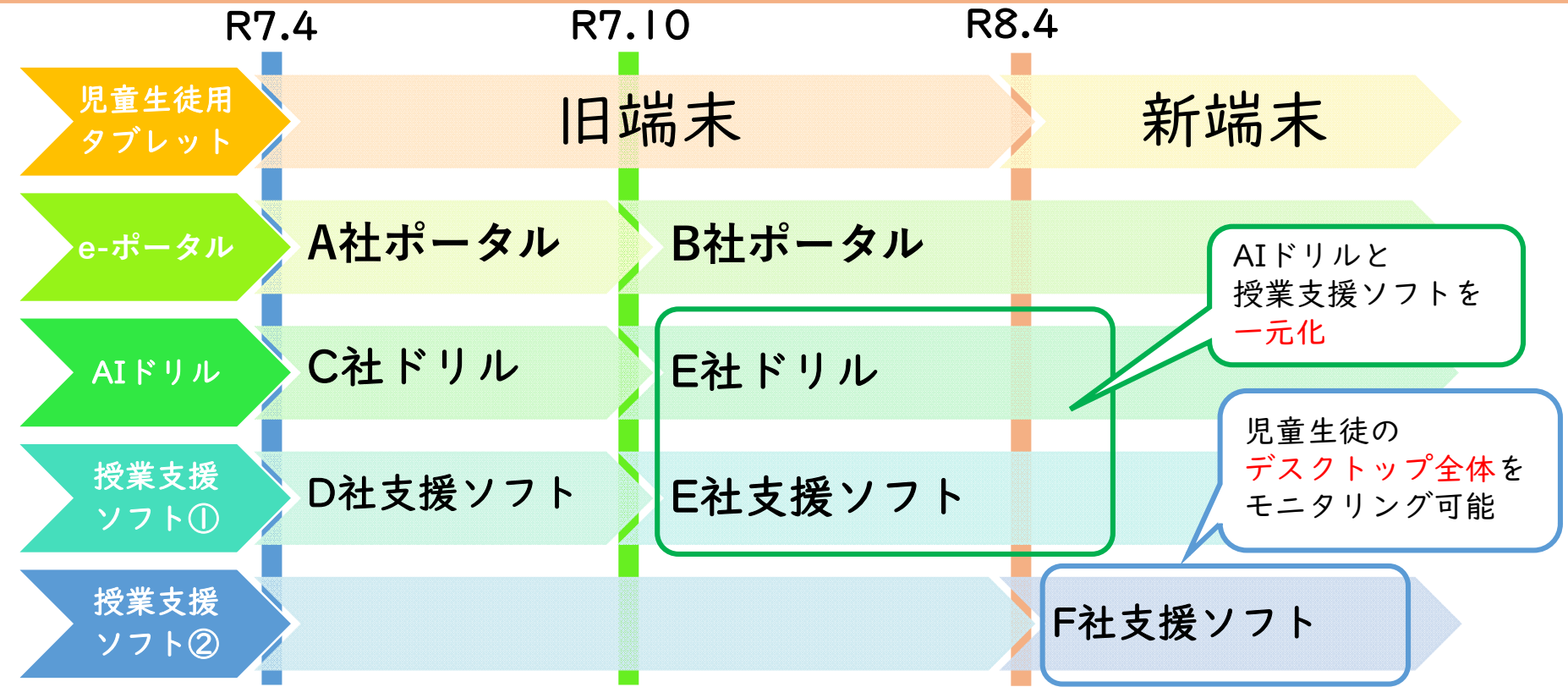
令和7年度からのICT環境(予定)

全学年でプログラミング教育

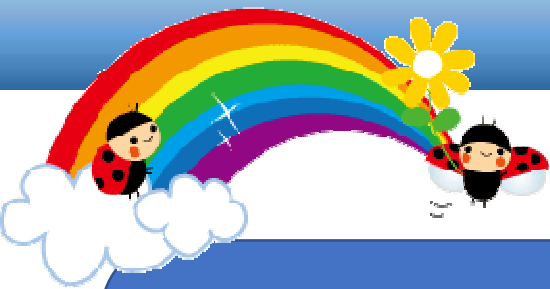
- 1年生から開始(アンプラグド含む)
- 小学校全学年で計画的に実施(各教科のめあて達成のためにやるものもあれば、**プログラミングのスキルを学ぶための時間も必要**)
- 中学校では、技術を中心に
- 希望研修の実施
- ICT支援員の派遣

ICT指導力の向上

- 全員が「できる」に！
- 「ややできる」では、課題有り
- 「あまりできない」は至急研修
- 校内、学年、グループ、個人での研修を積極的実施
- 指導者用デジタル教科書の活用



多様なニーズに対応した特別支援教育の充実



授業力の向上

- ・特別支援学校のセンター的機能の活用
- ・特性に応じたICTの活用
- ・読み書きの困難さに対応する支援プログラム研修
- ・自立活動の充実に向けた研修



就学前における早期からの相談・支援の充実

- ・就学相談会の実施
- ・簡易検査とひらがな10文字読み検査の実施
- ・ほのぼの相談会の実施

連続性のある多様な学びの場の提供

- ・みどりのファイルの活用
- ・個別の教育支援計画による関係機関との連携
- ・個別の指導計画による個に応じた指導の充実

巡回相談

特別支援教育地域推進体制充実事業



令和7年度 取手市の学校教育

チーム取手で

「こどもまんなか」の学校を目指しましょう！

取手市教育委員会 指導課 教育総合支援センター